

## (情報・通信)分野

## システム開発研究所

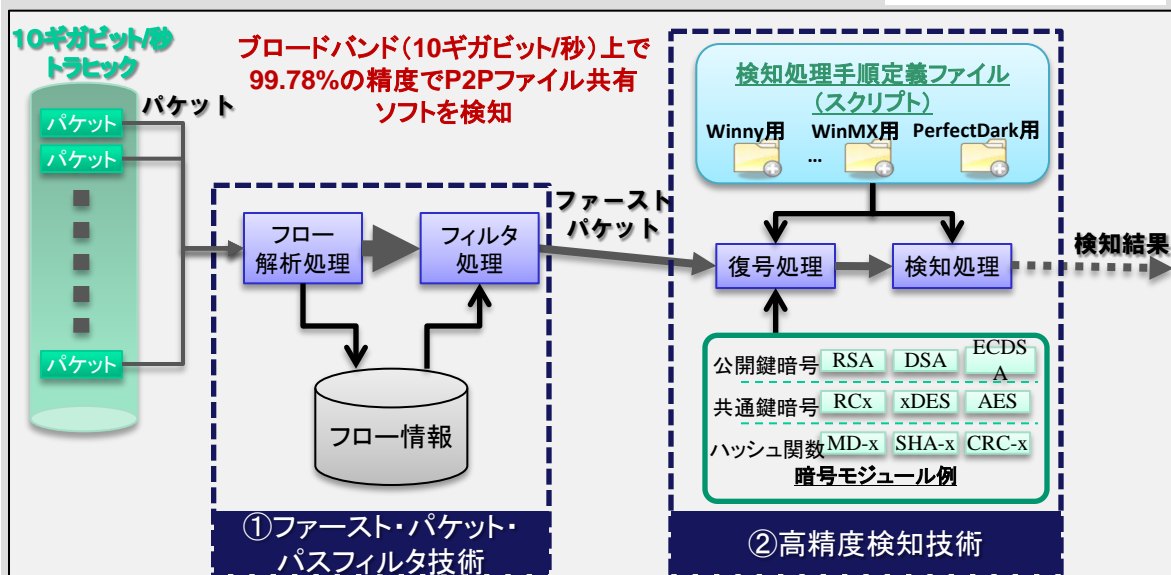
情報サービス研究センター

2010年7月1日(株)日立製作所ニュースリリース

<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2010/07/0701.html>

# Winnyなど7種のファイル共有ソフトのP2P通信を99.78%の精度で検知

総務省委託研究成果



実証実験環境: NICT北陸リサーチセンターのインターネットシミュレータ「StarBED」

Winnyに代表されるP2P(Peer to Peer)ファイル共有ソフトは、利用者間を直接つないで音声や画像ファイルなどを交換できる利便性を持つ一方、ウイルス感染による情報漏えいのリスクが社会問題になっています。日立は、ファイル共有ソフトのP2P通信を高速で検知するソフトウェアを開発しました。実証実験の結果、10ギガビット/秒のブロードバンド通信において、Winnyなど7種類のファイル共有ソフトを99.78%の精度で検知しました。

### ■開発したソフトウェアの特長

1. P2P通信の高速検知  
開発ソフトウェアは、すべてのパケット(通信データ単位)を検査せず、P2P通信の特徴が現れる最初のパケットのみを調べるため高速処理が可能です。  
<①ファースト・パケット・パスフィルタ技術>
2. 暗号化されたP2Pソフトの通信も高精度に検知  
暗号化されたP2Pソフトの通信を、暗号解読技術により確実に検知します。  
<②高精度検知技術>

### ■検知したファイル共有ソフト

Winny, Winnyp, Perfect Dark, Bit torrent, Lime Wire, WinMX, share  
\*P2Pファイル共有ソフトの国内利用者90%をカバー

### <開発者から一言>

今後は、P2P通信の検知から制御まで、一貫した対策ができるソフトウェアの実用化を目指し、ネットワークセキュリティの問題解決へ貢献していきます。